

令和7年度 国立磐梯青少年交流の家教育事業等報告

No.	事業名	趣旨	内容	期間	対象	参加人数
1	アクティブ・ジオキャンプ 【実践研究事業・特色化事業】	自然体験活動や宿泊体験を通して、青少年の調理・食生活に対する自信、食に対する感謝の気持ちや自己肯定感を高めるとともに、日常における運動習慣のきっかけづくりになることを目的として普及・啓発活動を実施する。	・実践研究の成果と登山プログラムの普及	通年	—	—
2	生活自立支援キャンプ 【生活自立支援事業】	体験活動を通して、子ども食堂を利用している青少年の基本的な生活習慣や自立する力を育むことを目的に実施する。	・雪の活動 ・レクリエーション ・ニュースポーツ	1/10(土)～12(月)	松戸市の子ども食堂 (小学生～中学生)	33名
3	磐梯地域探究プログラム 【地域探究プログラム事業】	体験活動を通して、高校生の物事を探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力を育成することを目的に実施する。	・講義「震災講話」 ・ワークショップ「HUG指導」 ・フィールドワーク「磐梯山登山」	・4月18日(金) 【ガイダンス】 ・5月2日(金)【五色沼】 ・6/5(木)～6(金) 【オリエンテーション合宿】 ・7月11日(金)【発表会】 ・9/19(金) 【磐梯山登山】 ・12月～1月 【東北ステージ】 ・1月24日(土)【発表会】 ・1～2月 ・2月【全国ステージ】	福島県立猪苗代高等学校生徒	53名
4	ばんボラセミナー 【ボランティア養成・研修事業】	国立青少年教育機構のボランティア養成カリキュラムに沿った講義や演習などを通して、青少年教育ボランティアを養成することを目的に実施する。	・講義 ・演習 ・実習	5/24(土)～25(日)	ボランティア活動に興味のある大学生等	42名
5	ボランティア自主企画 【ボランティア養成・研修事業】	ボランティアが教育事業等の企画運営を通して、青少年教育ボランティアに必要な技術等のスキルアップを図るとともに社会参画への意欲を高めることを目的に実施する。	・ボランティアが企画する体験活動等	10/26(日)	国立磐梯青少年交流の家で活動するボランティア	13名
6	第11期 福島子ども未来塾	体験活動を通して、東日本大震災から復興している福島県の現状を知らせ、福島県の未来を考え行動できる青少年を育成することを目的に実施する。	＜第1回＞ ・東日本大震災や福島県の自然、文化、歴史を知る活動 ・福島県の食を考える活動 ＜第2回＞ ・仲間を思いやる活動 ＜第3回＞ ・新しいことにチャレンジする活動 ＜第4回＞ ・留学体験 ・将来を考える活動	＜第1回＞ 8/5(火)～7(木) ＜第2回＞ 9/6(土)～7(日) ＜第3回＞ 9/27(土)～28(日) ＜第4回＞ 10/11(土)～13(月)	小学5年生～中学2年生	第1回 38名 第2回 38名 第3回 36名 第4回 39名
7	スマイルばんせい 【地域ぐるみ事業】	家族で体験活動を楽しむことを通して、親子でのコミュニケーションを促し、家庭教育の充実を図ることを目的に実施する。	・創作活動 ・自然体験活動 ・文化体験	10/19(日)	小学生以下を含む家族	415名
8	子どもゆめ基金説明会 【地域ぐるみ事業】	民間団体が実施する特色ある取組や、体験活動等の裾野を広げるような活動を中心に、様々な体験活動や読書活動等への助成金による支援を行い、未来を担う夢を持った子供の健全な育成の一層の推進を図ることを目的に実施する。	・助成申請の説明 ・質疑応答 ・相談	第1回10/25(土) 【対面】 第2回1/24(土) 【オンライン】	申請を予定している青少年関係団体等	第1回 4団体 第2回 3団体